

資料3-1 精神保健福祉関係団体等一覧

番号	精神保健福祉関係団体等	郵便番号
	精神医学・学会について	
1	日本精神神経学会	113-0033
2	日本社会精神医学会	104-0061
3	日本病院・地域精神医学会	160-0004
4	日本精神科救急学会	162-0041
5	日本児童青年精神医学会	603-8148
6	日本精神分析学会	102-0075
7	日本精神障害者リハビリテーション学会	169-0075
8	日本デイケア学会	113-0033
9	日本アルコール精神医学会	761-0793
10	日本森田療法学会	201-8601
11	日本産業精神保健学会	101-0041
12	日本うつ病学会	102-0075
13	日本老年精神医学会	105-0001
14	日本てんかん学会	187-0031
15	日本生物学的精神医学会	162-0802
16	日本神経精神薬理学会	162-0802
17	日本認知療法学会	772-8502
18	日本家族研究・家族療法学会	113-0033
19	日本アルコール・薬物医学会	602-8566
20	日本心身医学会	167-0051
21	日本摂食障害学会	604-0845
22	日本小児精神神経学会	160-0023
23	日本集団精神療法学会	130-0013
24	日本臨床心理学会	110-0003
25	日本精神保健看護学会	169-0075
26	日本LD学会	320-0851
27	日本自殺予防学会	102-0071
	精神科医療機関関係について	
28	日本精神科病院協会	108-8554
29	全国自治体病院協議会 精神科特別部会	102-8556
30	日本精神神経科診療所協会	151-0053
31	日本総合病院精神医学会	113-0033
32	国立精神医療施設長協議会	
	精神保健福祉関係職能団体について	
33	全国精神保健福祉センター長会	604-8845
34	日本精神科看護技術協会	103-0002
35	日本精神保健福祉士協会(日本PSW協会)	160-0015
36	日本作業療法士協会	111-0042
37	全国保健・医療・福祉心理職能協会	130-0013
38	全国精神医療労働組合協議会	604-8854
	社会復帰・就労支援関係について	
39	全国精神障害者社会復帰施設協会	113-0034
40	全国精神障害者地域生活支援協議会	160-0022
41	きょうされん(旧称:共同作業所全国連絡会)	164-0011
42	全国精神障害者就労支援事業所連合会(旧称:全国精神保健職親会連合会)	169-0075
43	障害者職業総合センター	261-0014
44	高齢・障害者雇用支援機構	105-0022
	当事者団体について	
45	全国精神障害者団体連合会	201-0003
46	全国「精神病」者集団	164-0011
47	NPO全国精神障害者ネットワーク協議会	820-0022
48	日本障害者協議会(JD)	162-0052

住所	電話番号	番号
東京都文京区本郷5-25-18ハイテク本郷ビル内	03-3814-2991	1
東京都中央区銀座1-23-2 上野ビル2階	03-5524-1227	2
東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ609	03-3351-8030	3
東京都新宿区早稲田鶴巻町519 洛陽鶴巻町ビル4F (株)春恒社内	03-5287-6157	4
京都市北区小山 西花池町1-8 (株)土倉事務所内	075-451-4844	5
東京都千代田区三番町2 三番町KSビル (株)コンベンションリンケージ内		6
東京都新宿区高田馬場4-23-13 特定非営利活動法人 ストローク会 内	03-3362-9033	7
東京都文京区本郷2-25-14第1ライトビル3F (有)エム・シー・ミュージズ内	03-3813-6368	8
香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部精神神経医学講座内	087-891-2167	9
東京都狛江市和泉本町4-11-1 東京慈恵会医科大学第三病院精神神経科内	03-3480-1151	10
東京都千代田区神田須田町1-7 神田セントラルビルA棟7階 産業精神保健研究所内	03-5298-4363	11
東京都千代田区三番町 三番町KSビル	03-3263-8697	12
東京都港区虎ノ門3-7-2 大橋ビル2F 株式会社ワールドプランニング	03-3431-3715	13
東京都小平市小川東町4-6-15	042-345-2522	14
東京都新宿区改代町26-1-B03 有限責任中間法人学会支援機構内	03-5206-6007	15
東京都新宿区改代町26-1 三田村ビル 有限責任中間法人 学会支援機構内	03-5206-6007	16
徳島県鳴門市鳴門町高島 鳴門教育大学教育臨床講座 井上和臣研究室内		17
東京都文京区本郷4-12-16-617 中村心理療法研究室内 学会事務局	03-6420-3716	18
京都市上京区河原町広小路上る 京都府立医科大学法医学教室内	075-251-5343	19
東京都杉並区荻窪5-27-8 第一荻窪ビル7階3号室	03-3398-8030	20
京都市中京区鳥丸御池上ル東側都ビル5F 鳥丸御池中井クリニック	075-241-4602	21
東京都新宿区西新宿6-7-1 東京医科大学病院小児科医局内	03-3342-6111	22
東京都墨田区錦糸2-6-10 エクセル錦糸B-1	03-3626-5069	23
東京都台東区根岸1-1-24 鶯谷日伸ハイツ201	03-3847-9164	24
東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献印刷社内	03-5389-6254	25
栃木県宇都宮市鶴田町687-9 ムギショウビル3階	028-649-0090	26
東京都千代田区富士見1-2-32-103 日本いのちの電話連盟内 学会事務局		27
東京都港区芝浦3-15-14	03-5232-3311	28
東京都千代田区紀尾井町3-27剛堂会館6階	03-3261-8555	29
東京都渋谷区代々木1-38-2 ミヤタビル3F	03-3320-1423	30
東京都文京区本郷2-14-4-201	03-5805-3720	31
		32
京都府京都市中京区壬生東高田町1-15 京都市こころの健康増進センター内	075-314-0355	33
東京都中央区日本橋馬喰町2-3-2 セントピアビル8階	03-3667-8661	34
東京都新宿区大京町23番地3 四谷オーキッドビル7階	03-5366-3152	35
東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル7階	03-5826-7871	36
東京都墨田区錦糸2-6-10 錦糸町カウンセリングルーム	03-5485-1054	37
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラボール京都4F 京都民間医労連気付	075-811-5672	38
東京都文京区湯島3-14-8 加田湯島ビル5F	03-5812-0830	39
東京都新宿区新宿1-17-11 GB6F	03-5312-1950	40
東京都中野区中央5-41-18-5F	03-5385-2223	41
東京都新宿区高田馬場4-23-13 (株)ストローク気付	03-3368-9290	42
千葉県千葉市美浜区若葉3-1-3		43
東京都港区海岸1丁目11番1号		44
狛江市和泉本町2-18-1 和泉フラット103	03-5438-5591	45
東京都中野区中央2-39-3 絆社 御中	080-1036-3685	46
福岡県飯塚市明星寺25-3-1544	0948-25-8939	47
東京都新宿区戸山1-22-1 日本障害者リハビリテーション協会内	03-5287-2346	48

番号	精神保健福祉関係団体等	郵便番号
49	全国自立生活センター協議会	192-0046
50	日本てんかん協会	162-0051
51	生活の発見会	130-0001
52	全日本断酒連盟	101-0032
53	A. A. (アルコールリクス・アノニマス)	
54	ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)	103-0007
55	日本ダルク	110-0015
56	NA(薬物依存症者本人の集まり)	
	家族の会について	
57	全国精神保健福祉会連合会	170-0013
58	全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会(略称 きょうだいの会)	136-0073
59	アラン・ジャパン GSO	145-0071
60	ナランG. S. O(ゼネラルサービスオフィス)	171-0021
61	社団法人認知症の人と家族の会(旧呆け老人をかかえる家族の会)	602-8143
62	社団法人 日本自閉症協会	104-0044
63	全国LD親の会	105-0013
64	NPO法人えじそんくらぶ	358-0003
65	NPO法人 アスペ・エルデの会	
66	全国ひきこもりKHJ親の会	339-0057
	認知症について	
67	日本老年精神医学会	105-0001
68	日本認知症ケア学会	105-0001
69	社団法人認知症の人と家族の会(旧呆け老人をかかえる家族の会)	602-8143
	発達障害について	
70	日本LD学会	320-0851
71	日本発達障害ネットワーク(JDD Net)	105-0013
72	NPO法人 アスペ・エルデの会	
73	NPO法人えじそんくらぶ	358-0003
74	NPO法人 EDGE	105-0013
75	全国LD親の会	105-0013
76	社団法人 日本自閉症協会	104-0044
77	全国ひきこもりKHJ親の会	339-0057
78	やどかり(家族のミーティング)	156-0057
79	あんだんて(摂食障害の子供をもつ親の為のミーティング)	162-0843
	うつ病について	
80	日本うつ病学会	102-0075
81	UTU-NET(うつネット)	104-0031
82	うつ病の予防・治療委員会(JCPTD)	
	神経症について	
83	NPO法人「全国パニック障害の会」	
84	SAD-NET(社会不安障害総合情報サイト)	
	摂食障害について	
85	NABA(日本アレキシア・プリミア協会)	156-0057
86	やどかり(家族のミーティング)	156-0057
87	あんだんて(摂食障害の子供をもつ親の為のミーティング)	
	薬物・アルコールについて	
88	日本アルコール・薬物医学会	602-8566
89	日本アルコール精神医学会	761-0793
90	全日本断酒連盟	101-0032
91	A. A. (アルコールリクス・アノニマス)	
92	ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)	103-0007
93	アラン・ジャパン GSO	145-0071

住所	電話番号	番号
東京都八王子市明神町4-11-11シルクヒルズ大塚1F	0426-60-7747	49
東京都新宿区西早稲田2-2-8 全国心身障害児福祉財団ビル4F	03-3202-5661	50
東京都墨田区吾妻橋2-19-4 リバーあみ清ビル2F	03-6661-3800	51
東京都千代田区岩本町3-2-2 エスコート神田岩本町101号	03-3863-1600	52
	03-3590-5377	53
京都中央区日本橋浜町3-16-7-7F	03-3249-2551	54
東京都台東区東上野6-21-8	03-3844-4777	55
	03-5685-6128	56
東京都豊島区東池袋1-46-13 ホリグチビル306	03-6907-9211	57
東京都江東区北砂1-15-8 地域交流支援センター内	03-5634-8790	58
大田区田園調布2-9-21	03-5483-3313	59
東京都豊島区西池袋2-1-13 目白ハウス2E	03-5951-3571	60
京都府京都市上京区堀川丸太町下ル京都社会福祉会館内	075-811-8195	61
東京都中央区明石町6-22 ダヴィンチ築地2 6F	03-3545-3380	62
東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3F	03-6240-0673	63
埼玉県入間市豊岡1-1-1-924		64
		65
埼玉県岩槻市本町1-3-3 らうんじ内		66
東京都港区虎ノ門3-7-2 大橋ビル2F 株式会社ワールドプランニング	03-3431-3715	67
東京都港区虎ノ門3-7-2大橋ビル(株)ワールドプランニング内	03-3431-3715	68
京都府京都市上京区堀川丸太町下ル京都社会福祉会館内	075-811-8195	69
栃木県宇都宮市鶴田町687-9 ムギショウビル3階		70
東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3階	03-6240-0674	71
		72
埼玉県入間市豊岡1-1-1-924	042-962-8683	73
東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3階	03-6240-0670	74
東京都港区浜松町1-20-2 村瀬ビル3F	03-6240-0673	75
東京都中央区明石町6-22 ダヴィンチ築地2 6F	03-3545-3380	76
埼玉県岩槻市本町1-3-3 らうんじ内		77
東京都世田谷区上北沢4-19-12 シャンボール上北沢 212	03-3302-0710	78
東京都新宿区市ヶ谷田町2-24 (ミーティング会場)	03-5445-3861	79
東京都千代田区三番町 三番町KSビル	03-3263-8697	80
東京都中央区京橋2-8-8 新京橋ビル6F		81
		82
東京都杉並区久我山3-17-19	03-5346-1536	83
	03-5977-7476	84
東京都世田谷区上北沢4-19-12 シャンボール上北沢 212	03-3302-0710	85
東京都世田谷区上北沢4-19-12 シャンボール上北沢 212	03-3302-0710	86
東京都新宿区市ヶ谷田町2-24 援助修道会・別館	03-5445-3861	87
京都市上京区河原町広小路上る 京都府立医科大学法医学教室内	075-251-5343	88
香川県木田郡三木町池戸1750-1 香川大学医学部精神神経医学講座内	087-891-2167	89
東京都千代田区岩本町3-2-2 エスコート神田岩本町101号	03-3863-1600	90
	03-3590-5377	91
東京都中央区日本橋浜町3-16-7-7F	03-3249-2552	92
大田区田園調布2-9-21	03-5483-3313	93

番号	精神保健福祉関係団体等	郵便番号
94	AKK(アクション問題を考える会)	156-0057
95	日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会	546-0022
96	NA(薬物依存症者本人の集まり)	
97	ナラノG. S. O(ゼネラルサービスオフィス)	171-0021
	人権について	
98	東京精神医療人権センター	160-0023
99	大阪精神医療人権センター	530-0047
100	全国精神医療審査会連絡協議会	108-8554
101	精神障害者社会復帰促進協会(ふっききょう)	540-0026
	精神障害者スポーツについて	
102	日本精神保健福祉連盟 障害者スポーツ推進委員会	108-0023
	精神保健従事者団体懇談会(精従懇)加盟団体	
103	国立精神医療施設長協議会	
104	全国自治体病院協議会 精神科特別部会	102-8556
105	全国精神医療労働組合協議会	604-8854
106	全国精神障害者社会復帰施設協会	113-0034
107	全国精神障害者地域生活支援協議会	160-0022
108	全国精神保健福祉センター長会	604-8845
109	全国精神保健福祉相談員会	
110	全国保健・医療・福祉心理職能協会	130-0013
111	全日本自治団体労働組合衛生医療評議会	
112	地域精神保健・社会福祉協会	
113	日本作業療法士協会	111-0042
114	日本児童青年精神医学会	603-8148
115	日本集団精神療法学会	130-0013
116	日本精神保健福祉士協会(日本PSW協会)	160-0015
117	日本精神科看護技術協会	103-0002
118	日本精神神経学会	113-0033
119	日本総合病院精神医学会	113-0033
120	日本病院・地域精神医学会	160-0004
121	日本臨床心理学会	110-0003
122	日本精神保健看護学会	169-0075

住所	電話番号	番号
東京都世田谷区上北沢4-30-10 上北沢第2コーポラス306	03-3329-0122	94
大阪府大阪市東住吉区住道矢田3-4-3 リカバリーハウスいちご	06-6769-1517	95
	03-5685-6128	96
東京都豊島区西池袋2-1-13 目白ハウス2E	03-5951-3571	97
東京都新宿区西新宿7-19-11	03-3366-2518	98
大阪市北区西天満5-9-5 谷山ビル9階	06-6313-0056	99
東京都港区芝浦3-15-14 日精協内	03-5232-3311	100
大阪府大阪府中央区内本町1-1-5 プラスサンビル6階 601	06-6944-3592	101
東京都港区芝浦3-15-14 日精協会館内	03-5232-3308	102
		103
東京都千代田区紀尾井町3-27剛堂会館6階	03-3261-8555	104
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都4F 京都民間医労連気付	075-811-5672	105
東京都文京区湯島3-14-8 加田湯島ビル5F	03-5812-0830	106
東京都新宿区新宿1-17-11 GB6F	03-5312-1950	107
京都府京都市中京区壬生東高田町1-15 京都市こころの健康増進センター内	075-314-0355	108
		109
東京都墨田区錦糸2-6-10 錦糸町カウンセリングルーム	03-5485-1054	110
		111
		112
東京都台東区寿1-5-9 盛光伸光ビル7階	03-5826-7871	113
京都市北区小山 西花池町1-8 (株)土倉事務所内	075-451-4844	114
東京都墨田区錦糸2-6-10 エクセル錦糸B-1	03-3626-5069	115
東京都新宿区大京町23番地3 四谷オーキッドビル7階	03-5366-3152	116
東京都中央区日本橋馬喰町2-3-2 セントピアビル8階	03-3667-8661	117
東京都文京区本郷5-25-18ハイテク本郷ビル内	03-3814-2991	118
東京都文京区本郷2-14-4-201	03-5805-3720	119
東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ609	03-3351-8030	120
東京都台東区根岸1-1-24 鶯谷日伸ハイツ201	03-3847-9164	121
東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献印刷社内	03-5389-6254	122

資料3-2 精神保健福祉関係団体等一覧

番号	精神保健福祉関係団体等	FAX
	精神医学・学会について	
1	日本精神神経学会	03-3814-2992
2	日本社会精神医学会	03-5524-1228
3	日本病院・地域精神医学会	03-3351-8030
4	日本精神科救急学会	03-5291-2176
5	日本児童青年精神医学会	075-441-0436
6	日本精神分析学会	03-3263-8693
7	日本精神障害者リハビリテーション学会	03-3362-9377
8	日本デイケア学会	03-3813-6368
9	日本アルコール精神医学会	087-891-2168
10	日本森田療法学会	03-5497-0631
11	日本産業精神保健学会	03-5298-4363
12	日本うつ病学会	03-3263-8693
13	日本老年精神医学会	03-3431-3325
14	日本てんかん学会	042-345-2522
15	日本生物学的精神医学会	03-5206-6008
16	日本神経精神薬理学会	03-5206-6008
17	日本認知療法学会	
18	日本家族研究・家族療法学会	03-6420-3716
19	日本アルコール・薬物医学会	075-241-0749
20	日本心身医学会	03-3398-8031
21	日本摂食障害学会	075-241-4602
22	日本小児精神神経学会	03-5210-0874
23	日本集団精神療法学会	03-3626-5069
24	日本臨床心理学会	03-3847-9164
25	日本精神保健看護学会	03-3368-2822
26	日本LD学会	028-649-3318
27	日本自殺予防学会	03-3511-7508
	精神科医療機関関係について	
28	日本精神科病院協会	03-5232-3309
29	全国自治体病院協議会 精神科特別部会	03-3261-1845
30	日本精神神経科診療所協会	03-3320-1426
31	日本総合病院精神医学会	03-5805-3720
32	国立精神医療施設長協議会	
	精神保健福祉関係職能団体について	
33	全国精神保健福祉センター長会	075-314-0504
34	日本精神科看護技術協会	03-3667-8662
35	日本精神保健福祉士協会(日本PSW協会)	03-5366-2993
36	日本作業療法士協会	03-5826-7872
37	全国保健・医療・福祉心理職能協会	03-5485-1054
38	全国精神医療労働組合協議会	075-811-5672
	社会復帰・就労支援関係について	
39	全国精神障害者社会復帰施設協会	03-5812-0831
40	全国精神障害者地域生活支援協議会	03-5312-1951
41	きょうされん(旧称:共同作業所全国連絡会)	03-5385-2299
42	全国精神障害者就労支援事業所連合会(旧称:全国精神保健職親会連合会)	03-3362-9377
43	障害者職業総合センター	
44	高齢・障害者雇用支援機構	
	当事者団体について	
45	全国精神障害者団体連合会	
46	全国「精神病」者集団	03-3738-8815
47	NPO全国精神障害者ネットワーク協議会	0948-25-8937
48	日本障害者協議会(JD)	03-5287-2347

メールアドレス	ホームページ	番号
info@jspn.or.jp	http://www.jspn.or.jp/	1
	http://www.jssp.info/	2
info@byochi.org	http://www.byochi.org/	3
info@jaep.org	http://www.jaep.jp/	4
jde07707@nifty.ne.jp	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscap/	5
sec_ipa@secretariat.ne.jp	http://www.seishinbunseki.jp/	6
	http://www.iapr.jp/	7
info@daycare.gr.jp	http://www.daycare.gr.jp/	8
psy@kms.ac.jp		9
Gpjimkyoku@aol.com		10
jsomh@iomhj.com	http://jsomh.umin.jp/	11
jsmd@secretariat.ne.jp	http://www.secretariat.ne.jp/jsmd/	12
rouseijim@nqfm.ftbb.net	http://www.rounen.org/	13
jes-oas@umin.ac.jp	http://square.umin.ac.jp/jes/	14
	http://plaza.umin.ac.jp/~jsbp/	15
isnp@asas.or.jp	http://www.asas.or.jp/isnp/	16
jact-admin@umin.ac.jp	http://jact.umin.jp/	17
jaft-npi@coda.ocn.ne.jp	http://www.jaft.org/	18
jmsas@koto.kpu-m.ac.jp	http://www2.kpu-m.ac.jp/~jmsas/jmsastop.html	19
mail@shinshin-igaku.com	http://www.shinshin-igaku.com	20
entry@jsed.org	http://www.jsed.org/	21
jsppn@tokyo-med.ac.jp	http://www.jsppn.jp/	22
jagp@ha.bekkoame.ne.jp	http://www.bekkoame.ne.jp/ha/jagp/	23
nichirinshin@Yahoo.co.jp	http://www.geocities.jp/nichirinshin/	24
japmhn-post@bunken.co.jp	http://www.japmhn.jp/	25
jald@vesta.ocn.ne.jp	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jald/index.html	26
	http://members.icom.home.ne.jp/yosha/ispa/	27
office@nisseikyo.or.jp	http://www.nisseikyo.or.jp/	28
info@jmha.or.jp	http://www.jmha.or.jp/dsp/bukai/dsp_bukai.php?type=1	29
office@japc.or.jp	http://www.japc.or.jp/	30
jsghp@mth.biglobe.ne.jp	http://psy.umin.ac.jp/	31
		32
	http://www.acplan.jp/mhwc/	33
	http://www.jpna.or.jp/index.html	34
office@japsw.or.jp	http://www.japsw.or.jp/	35
	http://www.jaot.or.jp/	36
psycho@onyx.dti.ne.jp	http://www.onyx.dti.ne.jp/~psycho/	37
zenkoku@seirokyo.com	http://www.seirokyo.com/	38
cava@zenseishakyo.or.jp	http://www.zenseishakyo.or.jp/	39
info@ami.or.jp	http://www.ami.or.jp/	40
zenkoku@kyosaren.or.jp	http://www.kyosaren.or.jp/	41
info@vfoster.org	http://vfoster.org/	42
kikakubu@jeed.or.jp	http://www.nivr.jeed.or.jp/	43
	http://www.jeed.or.jp/	44
		45
hanayumari@hotmail.com	http://www.geocities.jp/bshudan/	46
ymns@zenseinet.com	http://www.zenseinet.com/	47
office@jnet.gr.jp	http://www.jnet.gr.jp/	48

番号	精神保健福祉関係団体等	FAX
49	全国自立生活センター協議会	0426-60-7746
50	日本てんかん協会	03-3202-7235
51	生活の発見会	03-3621-8555
52	全日本断酒連盟	03-3863-1691
53	A. A. (アルコールリクス・アノニマス)	
54	ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)	03-3249-2553
55	日本ダルク	03-3844-4799
56	NA(薬物依存症者本人の集まり)	
	家族の会について	
57	全国精神保健福祉会連合会	03-3987-5466
58	全国障害者とともに歩む兄弟姉妹の会(略称 きょうだいの会)	03-3644-6808
59	アラノン・ジャパン GSO	03-5483-3315
60	ナラノンG. S. O(ゼネラルサービスオフィス)	03-5951-3571
61	社団法人認知症の人と家族の会(旧呆け老人をかかえる家族の会)	075-811-8188
62	社団法人 日本自閉症協会	03-3545-3381
63	全国LD親の会	03-6240-0671
64	NPO法人えじそんくらぶ	042-962-8683
65	NPO法人 アスペ・エルデの会	
66	全国ひきこもりKHJ親の会	048-758-5705
	認知症について	
67	日本老年精神医学会	03-3431-3325
68	日本認知症ケア学会	03-3431-3325
69	社団法人認知症の人と家族の会(旧呆け老人をかかえる家族の会)	075-811-8188
	発達障害について	
70	日本LD学会	
71	日本発達障害ネットワーク(JDD Net)	03-6240-0671
72	NPO法人 アスペ・エルデの会	
73	NPO法人えじそんくらぶ	042-962-8683
74	NPO法人 EDGE	03-6240-0671
75	全国LD親の会	03-6240-0671
76	社団法人 日本自閉症協会	03-3545-3381
77	全国ひきこもりKHJ親の会	048-758-5705
78	やどかり(家族のミーティング)	
79	あんだんて(摂食障害の子供をもつ親の為のミーティング)	
	うつ病について	
80	日本うつ病学会	03-3263-8693
81	UTU-NET(うつネット)	
82	うつ病の予防・治療委員会(JCPTD)	
	神経症について	
83	NPO法人「全国パニック障害の会」	03-5346-1532
84	SAD-NET(社会不安障害総合情報サイト)	
	摂食障害について	
85	NABA(日本アレキシア・プリミア協会)	
86	やどかり(家族のミーティング)	
87	あんだんて(摂食障害の子供をもつ親の為のミーティング)	
	薬物・アルコールについて	
88	日本アルコール・薬物医学会	075-241-0749
89	日本アルコール精神医学会	087-891-2168
90	全日本断酒連盟	03-3863-1691
91	A. A. (アルコールリクス・アノニマス)	
92	ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)	03-3249-2553
93	アラノン・ジャパン GSO	03-5483-3315

メールアドレス	ホームページ	番号
jil@d1.dion.ne.jp	http://www.j-il.jp/	49
nami@scan-net.ne.jp	http://www.jea-net.jp/index.html	50
hakken@group.email.ne.jp	http://www.hakkenkai.gr.jp/	51
	http://www.dansyu-renmei.or.jp/	52
aa-japangso@yahoo.co.jp	http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-iso/	53
ask@t3.rim.or.jp	http://www.ask.or.jp/	54
		55
ike@serenity.or.tv	http://serenity.or.tv/sbs/index.html	56
	http://seishinhoken.jp/	57
kyodainokai@yahoo.co.jp	http://www.normanet.ne.jp/~kvodai/	58
gso@al-anon.or.jp	http://www.al-anon.or.jp/	59
naranon@sirius.ocn.ne.jp	http://www4.ocn.ne.jp/~nar633/	60
office@alzheimer.or.jp	http://www.alzheimer.or.jp/	61
asj@mub.biglobe.ne.jp	http://www.autism.or.jp/	62
jpald@iddnet.jp	http://www.normanet.ne.jp/~zenkokld/	63
info@e-club.jp	http://www.e-club.jp/	64
	http://www.as-japan.jp/	65
	http://www.khj-h.com/	66
rouseijim@nqfm.ftbb.net	http://www.rounen.org/	67
d-care@nqfm.ftbb.net	http://www.yume-net.ne.jp/dome/chihocare/index.htm	68
office@alzheimer.or.jp	http://www.alzheimer.or.jp/	69
jald@vesta.ocn.ne.jp	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jald/	70
office@iddnet.jp	http://iddnet.jp/	71
	http://www.as-japan.jp/	72
info@e-club.jp	http://www.e-club.jp/	73
info@npo-edge.jp	http://www.npo-edge.jp/	74
jpald@iddnet.jp	http://www.normanet.ne.jp/~zenkokld/	75
asj@mub.biglobe.ne.jp	http://www.autism.or.jp/	76
	http://www.khj-h.com/	77
		78
		79
jsmd@secretariat.ne.jp	http://www.secretariat.ne.jp/jsmd/	80
utu-net@ctime.co.jp	http://www.utu-net.com/	81
	http://www.icptd.jp/	82
NPO@jpdc.or.jp	http://www.jpdc.or.jp/	83
info@sad-net.jp	http://www.sad-net.jp/	84
	http://www8.plala.or.jp/NABA/top.htm	85
		86
		87
imsas@koto.kpu-m.ac.jp	http://www2.kpu-m.ac.jp/~imsas/imsastop.html	88
psy@kms.ac.jp		89
	http://www.dansyu-renmei.or.jp/	90
aa-japangso@yahoo.co.jp	http://www.cam.hi-ho.ne.jp/aa-iso/	91
ask@t3.rim.or.jp	http://www.ask.or.jp/	92
gso@al-anon.or.jp	http://homepage3.nifty.com/al-anon/	93

番号	精神保健福祉関係団体等	FAX
94	AKK(アディクション問題を考える会)	03-3329-0518
95	日本アルコール関連問題ソーシャルワーカー協会	06-6769-1517
96	NA(薬物依存症者本人の集まり)	
97	ナラノンG. S. O(ゼネラルサービスオフィス)	03-5951-3571
	人権について	
98	東京精神医療人権センター	
99	大阪精神医療人権センター	06-6313-0058
100	全国精神医療審査会連絡協議会	03-5232-3309
101	精神障害者社会復帰促進協会(ふつききょう)	06-4791-4895
	精神障害者スポーツについて	
102	日本精神保健福祉連盟 障害者スポーツ推進委員会	03-5232-3309
	精神保健従事者団体懇談会(精従懇)加盟団体	
103	国立精神医療施設長協議会	
104	全国自治体病院協議会 精神科特別部会	03-3261-1845
105	全国精神医療労働組合協議会	075-811-5672
106	全国精神障害者社会復帰施設協会	03-5812-0831
107	全国精神障害者地域生活支援協議会	03-5312-1951
108	全国精神保健福祉センター長会	075-314-0504
109	全国精神保健福祉相談員会	
110	全国保健・医療・福祉心理職能協会	03-5485-1054
111	全日本自治団体労働組合衛生医療評議会	
112	地域精神保健・社会福祉協会	
113	日本作業療法士協会	03-5826-7872
114	日本児童青年精神医学会	075-441-0436
115	日本集団精神療法学会	03-3626-5069
116	日本精神保健福祉士協会(日本PSW協会)	03-5366-2993
117	日本精神科看護技術協会	03-3667-8662
118	日本精神神経学会	03-3814-2992
119	日本総合病院精神医学会	03-5805-3720
120	日本病院・地域精神医学会	03-3351-8030
121	日本臨床心理学会	03-3847-9164
122	日本精神保健看護学会	03-3368-2822

メールアドレス	ホームページ	番号
email@akk-jp.org	http://www.akk-jp.org/	94
	http://www.j-asw.jp/index.htm	95
ike@serenity.or.tv	http://serenity.or.tv/sbs/index.html	96
naranon@sirius.ocn.ne.jp	http://www4.ocn.ne.jp/~nar633/	97
		98
	http://www.psy-jinken-osaka.org/	99
		100
hukikyo@max.hi-ho.ne.jp	http://www.max.hi-ho.ne.jp/hukikyo/	101
		102
		103
info@jmha.or.jp	http://www.jmha.or.jp/dsp/bukai/dsp_bukai.php?type=1	104
zenkoku@seirokkyo.com	http://www.seirokkyo.com/	105
cava@zenseishakyo.or.jp	http://www.zenseishakyo.or.jp/	106
info@ami.or.jp	http://www.ami.or.jp/	107
tymsht@city.kyoto.jp	http://www.acplan.jp/mhwc/	108
		109
psycho@onyx.dti.ne.jp	http://www.onyx.dti.ne.jp/~psycho/	110
		111
		112
	http://www.jaot.or.jp/	113
jde07707@nifty.ne.jp	http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscap/	114
jagp@ha.bekkoame.ne.jp	http://www.bekkoame.ne.jp/ha/jagp/	115
office@japsw.or.jp	http://www.japsw.or.jp/	116
	http://www.ipna.or.jp/index.html	117
info@jspn.or.jp	http://www.jspn.or.jp/	118
jsghp@mth.biglobe.ne.jp	http://psy.umin.ac.jp/	119
info@byochi.org	http://www.byochi.org/	120
nichirinshin@Yahoo.co.jp	http://www.geocities.jp/nichirinshin/	121
japmhn-post@bunken.co.jp	http://www.japmhn.jp/	122

本ガイドブックは、平成 17-19 年度厚生労働科学研究「精神障害者の正しい理解を図る取り組みの組織的推進に関する研究」（主任研究者 保崎秀夫）分担研究「普及啓発における当事者の積極的参加とマスメディアによる支援に関する研究」の一環として作成した。

分担研究者 山下俊幸(京都市こころの健康増進センター)

研究協力者 有海清彦(山形県精神保健福祉センター)

佐々木昭子(前東京都立精神保健福祉センター)

原 昌平(読売新聞大阪本社編集局科学部)

原田 豊(鳥取県立精神保健福祉センター)

益子 茂(東京都立精神保健福祉センター)

山崎正雄(高知県立精神保健福祉センター)

本ガイドブックの作成にあたり、阿部光希 様（山陽新聞・社会部）、安東義隆 様（産経新聞大阪本社・社会部）、岡本晃明 様（京都新聞・社会報道部）には、たいへん貴重なご助言をいただきました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

研究事務局 AC プランニング内

〒612-8369 京都市伏見区村上町 406

TEL 075-611-2008 FAX 075-603-3816

E-mail:seishinhoken@acplan.jp

平成 17-19 年度厚生労働科学研究費補助金(障害保健福祉総合研究事業)
精神障害者の正しい理解を図る取り組みの組織的推進に関する研究
主任研究者 保崎秀夫（日本精神保健福祉連盟）

精神保健医療福祉ガイドブック

- 当事者の積極的参加に向けたマスメディアによる支援のために -

編集 「普及啓発における当事者の積極的参加と

マスメディアによる支援に関する研究」研究班

分担研究者 山下俊幸(京都市こころの健康増進センター)

〒604 - 8845 京都市中京区壬生東高田町 1 - 1 5

発行 平成 20 年 3 月

精神保健学の教育資材開発に関する研究

竹島 正

平成 19 年度厚生労働科学研究費補助金（障害保健福祉総合研究事業）

精神障害者の正しい理解を図る取り組みの組織的推進に関する研究

分担研究報告書

精神保健学の教育資料開発に関する研究

精神保健教育資料のデザイン面からの評価に関する研究

分担研究者 竹島 正（国立精神・神経センター精神保健研究所）
研究協力者 三宅由子（国立精神・神経センター精神保健研究所）
山内貴史（東京大学大学院総合文化研究科）
織田信生（織田デザイン事務所，こころに平和を実行委員会）
松本俊彦（国立精神・神経センター精神保健研究所）
和田公一（朝日新聞社 医療グループ）
山下俊幸（京都市こころの健康増進センター）

研究要旨： 全国の精神保健福祉センターで現在用いられている普及啓発資料（ポスター，パンフレット等）について，デザイン面を中心にした評価を行い，効果的でメッセージ力のある資料開発に役立つ情報を得ることを目的に調査を行なった。全国 66 箇所の精神保健福祉センターに資料の提供を依頼し，63 箇所から回答を得て，このうち 59 箇所のセンターから 323 件の紙媒体の資料が収集できた。これらをデザイナー，編集専門家，精神科医が，それぞれデザイン面 3 項目，内容面 2 項目，品質面 1 項目で 4 段階評価し，その合計点を総合評価点とした。また作成にかかわる手順等についてたずねた質問紙の回答内容と総合評価をつき合わせて分析した。資料作成にデザイナー等の専門家が直接かかわったという回答は少なく，図やイラスト，レイアウトなどに関しては印刷業者に依頼するという回答も多かった。総合評価点により全体を 3 分して比較したところ，専門家への依頼の割合は上位群で他の群より多かった。すなわち，よい資料を作るためには専門家の活用が効果的であると考えられた。また，上位群では作成年度が 5 年以上前のものの割合が他群より多く，よいものができることと長く使われることをうかがわせた。工夫や苦労した点等の自由記載のある割合も，上位群で多かった。予算や人手のなさをなげく声もあるが，当事者の会など地域資源を活用して中身を作り上げたという場合も報告されており，これらの情報を共有することが，各地域での効率的な資料作成に役立つものと思われた。現状では各都道府県が個別に努力してよりよい資料を作ろうとしていることが感じられるが，今後はそれらの努力を結集し，共同して研究や開発を行なうことが有効であると考えられた。

A. はじめに

精神保健福祉に関するポスター，パンフレット等の普及啓発資料は，さまざまな地

域や組織団体で作成され，用いられているが，それらの多くは伝えるための工夫が十分にいきわたっておらず，結果として，そ

の効果を十分発揮できていない可能性がある。しかし多くの現場では、資材の品質向上のためにデザイナーや編集者などの専門家に依頼する余裕はなく、担当者の努力や特技などに任されているのが現状であろう。現在までにこのような視点から普及啓発資材を点検する試みはなく、まず既存の普及啓発資材とその作成過程について情報収集を行い、加えて専門家による評価を行って、実態を把握することが必要と思われた。これにより、効果的でメッセージ力のある普及啓発資材の効率的開発に資することが本研究の目的である。

B. 対象と方法

全国66箇所の精神保健福祉センターに、調査日現在入手可能な普及啓発資材の提供を求める依頼状とともに、資材の作成にかかる手順の質問紙を送付した。質問紙はそれぞれの資材ごとに、作成年度、作成部数(概数)、作成担当者、専門家の関与の有無、文章、イラスト、デザイン等をどのように決めたかについてたずねた(資料1)。次に、提供されたポスター、パンフレット等それぞれについて、デザイナー、編集という側面からの専門家として精神保健に詳しいメディア従事者、精神科医各1名によって評価を行なった。評価は4段階で、デザイン・表現については5項目(見やすさ、工夫、特徴の有無、作成意図、分かりやすさ)あり、前半の3項目をデザイナーが、後半の2項目をメディア従事者が評価し、品質面の1項目(情報の品質)については精神科医が評価した(資料2)。資料2では評価票をひとつにまとめてあるが、実際にはそれぞれの評価票は分割されて、それぞれの

専門家が独立に評価を行なった。また、資材に添えられた質問紙は評価者にも閲覧可能な状態であったが、評価者が質問紙の回答内容を見て評価を変えるということにはなかった。

66箇所の精神保健福祉センターのうち、63箇所(95.5%)から回答があり、このうち資材を1点以上提供してくれたのは59箇所であった。今回は紙媒体の323件の資材について評価対象とした。専門家による評価に関しては、4段階評価によいほうから3, 2, 1, 0点を与えて、合計点を算出し、総合評価としてその点数を用いた。デザイン・表現と品質の評価を行なっているが、品質面は1項目なので、この総合点はデザインを重要視した評価と言える。

C. 結果

1. 質問紙の単純集計

323件の資材に関する質問紙の単純集計結果を表1~8に示した。

作成時期は平成15年度以降のものが多いが、それ以前に作成されたものも34件あった。最も多いのは前年度に作成されたもので、全体の32.5%であった(表1)。作成スタッフは複数という回答が67.8%を占めた(表2)。

資材作成に専門家がかかわった割合は、デザイナーは5.6%(表3)、編集専門家は2.2%(表4)と少数であった。しかし、印刷業者の関与が大きいという回答も38.4%(表5)に過ぎず、また半数は明確に「いいえ」と回答しているので、業者任せが一般的であるとはいえない。

文章の作成については、担当者が作成したというものが最も多く57.0%を占め、次

いで所内の専門職に依頼したもの 15.2%であった(表 6)。文章を外部専門家に依頼したという回答は 2 件で非常に少ない。イラストや写真、図などの作成については、印刷所(業者)に依頼したという回答が 40.9%で最も多く、次いで担当者が作成 15.8%、既存資料から引用 12.1%であった(表 7)。ここでも外部の専門家に依頼したという回答は 10 件と少なかった。レイアウト等の決定方法は、スタッフ間で協議して決めたものが 44.6%で最も多く、次いで印刷所(業者)の助言に従ったものが 15.5%、担当者が決定したものが 14.2%であった(表 8)。外部専門家への依頼は 12 件であった。

2. 専門家による評価

表 9~14 に専門家による資材評価の分布を示した。どの項目に関しても「普通」評価が基本となるので、その評価に該当するものが最も多くなった。まずデザイン面では、みやすさで「よい」と評価されたものが 12.1%、「よくない」が 0.9%、工夫が「ある」と評価されたものが 22.9%、「ない」が 1.5%、他のものと違う特徴が「ある」と評価されたものが 19.5%、「ない」が 2.2%であった。作成意図の伝わりやすさに関しては、「よい」が 10.2%、「よくない」が 0.6%であり、利用目的に沿って内容が分かりやすいかに関しては、「よい」が 10.5%、「よくない」が 0.6%となった。最後の情報の品質については、「よい」が 48.6%、「よくない」というものはなく、「あまりよくない」も 1.2%と少なかった。

3. 評価点の合計による分類

専門家による 6 項目の評価の合計点の分布を表 15 に示した。5 点から 18 点(満点)に分布し、満点を獲得したのは 4 件であった。この分布から、全体をほぼ 3 分するように 5~11 点の下位群(110 件)、12~13 点の中位群(135 件)、14~18 点の上位群(78 件)に分類し、質問紙への回答をクロス集計した。その結果を表 16~23 に示した。

表 16 に示すように、上位群では作成時期が平成 14 年以前のものが他の群よりかなり多く、また、不明も他の群よりやや多いが、このことが以下の集計に影響を与えている可能性がある。作成スタッフがひとりか複数かについては、どの群も大差はない(表 17)。

デザイナーの直接の関与については、上位群でその割合が高く、また、明確に「いいえ」と回答した割合も他の群より低かった。しかし、不明も他の群より多く、作成年度が古いものが多いことが影響していると思われた(表 18)。編集専門家の関与の有無は、やや上位群で多いものの、デザイナーの関与ほどの差はみられない(表 19)。ここでも不明が上位群に多い傾向は変わらない。印刷業者の提案が大きいというものについてもあまり大きな差はないが、「いいえ」が上位群でやや少なく、不明および無記入が他の群より多い(表 20)。

文章の作成については、3 群であまり大きな差はみられない。下位群に「担当者が作成」がやや多く、上位群で「所内専門職に依頼」がやや少ない(表 21)。外部専門家に依頼したケースはほとんどないので、群による差をみることはできない。イラストや写真、図については、上位群で「外部専門家に依頼」の割合が高く、下位群では「担

当者が作成」と「既存資料から引用」の割合が高い。しかし、どの群においても「印刷所（業者）に依頼」が最も多いことは同じであり、上位群ではその割合がやや他の群より少ない（表 22）。レイアウト等の決定については、「外部専門家に依頼」と回答したものの大部分は上位群に属するものであった。「印刷所（業者）の助言による」という回答は、下位群で多く、上位群では少なかった（表 23）。

4. 作成にあたっての工夫等の記載

質問紙の最後にその資料を作るに当たって特に苦労や工夫があれば自由記載してもらった。記載があったものは、評価の上位群では 25 件（32.1%）、中位群では 36 件（26.6%）、下位群では 14 件（12.7%）であり、上位群のほうが記載のあった件数の割合が多かった。記載の内容は群によってあまり大きな差はなく、「文字ばかりにならないようにしつつ、内容も充実させるのに苦労した」「専門家や当事者団体、親の会などの協力を得たが、意見調整に苦労した」など、内容の充実に関するもの、「予算削減で評判のよい資料を作れない」「専門家に依頼する予算がない」「専門家に依頼するのにどのくらいかかるのか分からない」など、費用に関するもの、「イラストや図をどのように入手するか」「親しみやすい色彩の工夫」「興味をもってもらえるようレイアウトを工夫」など、デザインに関連するものなどであった。

D. 考察

1. 資料作成の手順等について

資料に添えられた質問紙の回答からは、

限られた予算と人員の中で効果的な資料を作成しようとする努力が読み取れた。現在使われているものでありながら、作成年度はかなり広範囲にわたり、作られた資料が継続して使われていることがわかる。担当者がひとりで作成したというものは 2 割に留まり、複数のスタッフが協力して作成するのが大勢である。専門家への依頼は少ないものの、業者を通じての関与がうかがわれた。中身の文章に関しては担当者が作成するという回答が多く、イラスト、写真、図などは印刷所（業者）に依頼する機会が多い。また所内の専門職や技能者に依頼するという回答も少なくなく、費用をかけずになるべくいいものを作ろうとする努力が現れていると思われた。

2. 専門家による評価について

今回の評価は標準化されたものではなく、デザイナー、精神保健に詳しいメディア従事者、精神科医がそれぞれ独自の判断に基づいて下した評価である。しかし、すべての資料をひとつの側面についてひとりの専門家が評価しているという点では、一貫性は保たれていると考えてよい。全体を通じて、最低の評価点をつけられた資料は少なかった。特に品質面では最低評価はひとつもなかった。すなわち、内容の正確さに疑問のある資料は皆無であった。

評価した 6 側面の評価を合計して総合点とした場合（18 点満点）、その平均点は 12.2 点であり、すべての面で「普通：2」という評価を基本線として評価が行なわれたことを示している。満点の評価を得た資料は 4 件であった。

デザイン面はまず、みやすさ、情報を提

供する際の「余白」の効果的な使用、手にとりやすくするための工夫の有無、そして独自の特徴の有無を中心に評価されている。工夫はあるものの、それが見やすさにつながっていない、という場合もあった。写真などもあまり類型的な、きれいなものが使われてしまうと、かえって没个性的になってしまう場合もみられた。利用対象者へのメッセージ性と、利用目的と内容の整合性からの評価では、対象者が絞り込まれておらず、誰に読んで欲しいのかが分かっていないのではないかと思われるものが問題とされる。たとえば、当事者を対象とするものと、当事者の周辺のサポーターを対象とするものとは、必要な情報が異なる場合も多い。なにを伝えたいのかが明確で、その方法が適切なものに高い評価を与えている。逆に内容が拡散して、メッセージ性があいまいなものは、低い評価とされている。

品質面の評価については、精神保健学的知識の正確さ、利用者への伝わりやすさはもちろんのこと、扱っている精神保健領域のトピックに対する切り口が、今日的な視点を持っているかどうか、考え方が時代遅れとなっていないかどうかなどといった点に注目して行った。作成から時間が経過したパンフレットでは、内容的に間違っていないものの、用語や概念が現在あまり使われていない場合には、比較的低い評価を与えている。他方で、最近の重要な精神保健的トピックを十分に膾炙して、わかりやすく表現・説明したパンフレットに対しては、高い評価を与えている。

3. 総合評価点別にみた質問紙の回答

総合評価点の分布から、全体をほぼ3分

して、質問紙への回答の分布を比較した。評価の上位群では、5年以上前に作成されたものの割合が他群より多かった。これがなぜなのかは分からないが、よいものが「生き残っている」と考えることも可能であろう。担当者がひとりが複数かは、評価とあまり関連していない。

また上位群は他の群と比較して専門家への依頼は多いが、デザイナーや編集専門家がかわったものであっても、必ずしも評価が高くないものもあった。また、印刷業者の提案が大きく寄与しているという回答はどの群でも4割前後であり、むしろ上位群で多い。つまり印刷業者の提案にしたがって作ってしまうという回答はむしろ少数派であり、評価とはあまり関連していないようである。

文章の作成に関しては、上位群では「無記入」が多く、はっきりとした傾向を見出すことはできない。「担当者が作成」というものが下位群で7割とやや多いことが目立つくらいである。上位群でも担当者が文章を作成したという割合は5割に達している。

イラストや写真、図などに関しては、上位群で専門家に依頼したものの割合が他群より多い。これと逆に、担当者が作成した、および既存資料から引用したというものの割合は下位群で多くなっている。すなわち、評価点ともっとも関連がみられるのがこの項目であった。評価がデザイン面を重視したものであるため当然ともいえるが、やはりよい資材を作るためには専門家の関与が効果的であると思われる。

レイアウト等の決定に関しては、上位群で外部専門家に依頼するという割合が他群より高く、印刷業者の助言、スタッフ間の

協議で決めたものが下位群で多かった。これも上位群で「不明」の割合が多いのはつきりとは分からないものの、専門家の関与は有用であると思われた。

自由記載の「工夫した点、苦勞した点」に記載があった割合も、上位群で多かった。それだけ力が入ったものであったことがうかがわれる。文字ばかりにならないようにしつつ、いかに内容を充実させるかに苦慮した、予算や人手のなさをどのように乗り越えたか、当事者の会など地域資源を活用して中身を作り上げたが意見調整に苦勞した、などであった。これらの情報を共有することは、各地域での効率的な資材作成に役立つものと思われた。

E. 結論

今回の調査を通じて、それぞれの都道府県では、与えられた条件の中でよりよい資材をつくろうという努力が感じられた。しかし、専門家の評価を重ね合わせてみると、よい普及啓発資材の開発にはまだやるべきことが残されていると思われる。この調査に示した6項目の評価を高めることは、ひとつの方策であろう。そのためには、現状では各県で個別に行なわれている努力を生かす方策を考える必要がある。よりよい資材開発のための共同研究の場をもつこと、対象と目的を共通にする資材は都道府県の垣根を越えて共同開発すること、そこにデザイナーやメディア従事者を関与させることなどが考えられる。そのようなことができるような組織をどう立ち上げ、どう運営するかがこれからの課題となる。

F：健康危険情報 なし

G：研究発表

1. 論文発表 なし
2. 学会発表 なし

H：知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし